

第3幕第1場：セイドの城塞

セイド一人、グルナーラへの愛と彼女がコッラードを愛しているのではないかという疑念の間で苦悩している。

(セイドのレチタティーヴォとアリア)

グルナーラが呼び出される。セイドは彼女にコッラードは明日にも処刑されるだろうと探りを入れる。案の定、グルナーラはコッラードを生かしたままにして身代金を要求してはどうかと提案する。彼女がコッラードを愛していることを確信したセイドは激しく怒り、グルナーラの命も自分次第だと警告する。

(セイドとグルナーラの二重唱)

第3幕第2場：塔の中

コッラードは鎖に繋がれている。彼は島に残してきたメドーラに思いを馳せる。グルナーラがやって来る。彼女はコッラードを助ける為に手下達を買収し船も用意してある事を告げる。しかし、コッラードは卑怯な逃亡はしないと拒む。グルナーラは覚悟した様に一旦立ち去る。雷が短い間激しく猛る。グルナーラが戻って来る。彼女は眠っていたセイドを殺してきたのだ。コッラードは自分を助ける為に殺人まで犯した彼女を救うためにも、ここから逃亡することにする。

(シェーナとグルナーラとコッラードの二重唱)

第3幕第3場：海賊の島

メドーラはコッラードの帰りを待っているが、彼が既に死んでしまったと思うようになっていた。水平線に帆が見え海賊達が騒ぎ出す。コッラードの船が戻って来たのだ。メドーラとコッラードは抱き合って喜び合う。メドーラはコッラードを救ったグルナーラに感謝する。グルナーラはコッラードを愛していたことを明かす。一方、ずっとコッラードの帰りを待ち続けたメドーラは、著しく衰弱していた。とうとう彼女はコッラードの腕の中で息絶える。絶望したコッラードは海へ身を投げそれを見たグルナーラは悲鳴を上げ倒れてしまう。

(第3幕のフィナーレ)